


平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-1	中原区緑のカーテン・打ち水大作戦事業	新規	H20	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容	環境局			
目的及び内容	第1期区民会議において検討された「私たちにできる身近な環境を考える」を実践するため、市が進めるCCかわさきとの連携を図りながら、区として環境への対策を講じると共に、区民への環境対策活動の普及・啓発を行うことを目的とする。					
予算額	1,152,000(円)	決算額	1,119,008(円)	不用額	32,992(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 		ゴーヤーの栽培セットを区民(団体)に配布し、区内にゴーヤーによる緑のカーテンを広めた。また、地域のイベントにおいて打ち水を行うことにより、広く区民に環境への取り組みの重要性を啓発した。 ゴーヤーの栽培協力団体：区内45団体 打ち水大作戦：区内5箇所実施。			
	国際交流センターでの打ち水大作戦の様子		実施時期 (開催日/回数等)	5月～9月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
ヒートアイランド現象などにより、川崎市の中でもっとも夏場の気温が高いといわれる中原区において、区民に環境への取り組みの重要性を啓発し、協力を呼び掛けることは重要である。その中で、多くの区民を対象とし、ゴーヤーの栽培や打ち水といった取り組みやすい活動の展開は有効である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	環境への取り組みをより一層推進するため、事業の体系化や新たな展開を検討していく。	A

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


区が進める、ゴーヤーの取り組みは浸透してきていると思うので、今後も手法などの検討をして継続をして欲しいと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-2	区民の手で花いっぱい中原事業	継続	H20	地域振興課

1 事業概要

事業実施主体	花クラブ実行委員会		対象者	区民		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	<p>区民が主体となった「花による潤いのあるまちづくり」のために、区民の中から公募で組織された花クラブ実行委員会が、公用地である武蔵小杉駅周辺、中原図書館、中原区役所正面、中原区役所周辺、武蔵中原駅周辺の5箇所に年2回花の植栽と日々の管理作業を行う。</p> <p>花に触れる体験を通じて、景観や環境に対する理解を進めるため、一般区民を募集して、実行委員会が講師となり、区役所正面玄関前の花壇の花植え体験を行う。</p>					
予算額	2,100,000 (円)	決算額	1,792,663 (円)	不用額	307,337 (円)	
不用の理由	委員が花卉農家に足を運んで直接購入することで、花苗代を可能な限り安価におさえる事ができたため。					
結果・成果			<p>年間を通じ、水遣りや花柄摘みなどの維持管理を行うと共に、植栽作業においても花壇のデザイン等に工夫をこらすなどした結果、川崎市緑地協会主催の「わがまち花と緑のコンクール」において努力賞を受賞した。年1回の研修では、花の手入れ、花壇のデザインを学ぶことにより、管理作業の参考にして作業に活かしている。花に触れる体験を通じて、景観や環境に対する理解を進めるため、一般区民を募集して、実行委員会が講師となり、区役所正面玄関前の花壇の花植え体験を行った。</p>			
			実施時期 (開催日/回数等)	通年	参加 人数等	
		小杉駅周辺花壇の花の植替え作業				

2 事業評価

<p>評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)</p> <p>低未利用の公用地のみと植栽場所は限られているが、大規模開発などに伴い中原区の住民が増えている中、区民の手による潤いのあるまちづくりを実践することは重要であり、通行人や近隣住民へのPRを含めた啓発機会としても有効である。</p> <p>また日々の維持管理作業だけでなく、植栽イベントの講師役も担い、参加者へ知識のフィードバックを行うことによる新たな展開を定着させている点は評価される。</p>

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	21年度に区役所が取組む環境推進事業の一環としての本事業の位置付けを明確にするため、植替え時の花苗や草などの残材の有効活用を推進し環境に配慮した緑化の取組みを検討していく。	B

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


花壇の場所がもっと増えると良いと思います。
花壇に事業を知らせる立札があるととても良いと思います。

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-3	緑のカーテン普及啓発用区役所庁舎改修工事	新規	H20	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所	対象者		当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容		
目的及び内容	区が進める環境対策事業として、推進しているゴーヤーによる緑のカーテン普及啓発事業をより効果的に展開する為に、区役所正面玄関脇花壇に、ゴーヤーによる緑のカーテン用の棚を設置することにより、区が進める緑のカーテン事業をより多くの区民にアピールする事を目的とする。			
予算額	931,000(円)	決算額	931,857(円)	不用額 -875(円)
不用の理由				
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】 	区が推進する、ゴーヤーによる緑のカーテン事業のシンボルとなる棚を人通りの多い区役所正面玄関脇に設置した。これは、夏場には緑のトンネルとなり区役所来庁舎に緑のカーテンの効果を体感できる場として活用を図る。		
	区役所花壇とゴーヤー用棚	実施時期 (開催日/回数等)	3月	参加 人数等

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区における環境対策事業のメインである、ゴーヤーによる緑のカーテンづくり事業をより効率的かつ効果的に推進する為に、区役所内にシンボルとなる緑のカーテンを作ることは重要である。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	棚の設置が終了したので事業は終了する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見


--

平成20年度 中原区協働推進事業 事業評価書

川崎市中原区役所

番号	事業名	新規・継続	開始年度	所管課
4-4	散水用雨水タンク設置事業	新規	H20	企画課

1 事業概要

事業実施主体	中原区役所		対象者			当初予定事業 緊急対応事業
事業形態	直営 一部委託 全部委託 その他()	関連事業局 ・事業内容				
目的及び内容	区では、環境関連事業として、緑のカーテン事業や区役所敷地内植花事業を実施している。花壇などへの水遣りに雨水の再利用を進めることにより、より一層環境に配慮した形での事業展開につなげる事を目的とする。					
予算額	622,000(円)	決算額	621,075(円)	不用額	925(円)	
不用の理由						
結果・成果	【事業実施状況・成果物などの写真等】		本館裏の駐車場の屋根を利用して、雨水を貯留できる雨水タンク(容量500l)を設置し、区役所花壇への散水に使用した。 タンクには、環境関連の区の施策などを掲示し、環境PRツールとしての活用を図った。			
	 <p>(雨水タンク)</p>		実施時期 (開催日/回数等)	11月	参加 人数等	

2 事業評価

評価の結果と理由(緊急対応事業の場合は緊急性・重要性についても触れること)
区が進める環境事業として、緑のカーテン普及啓発事業や打ち水大作戦、区民の手で花いっぱい中原事業などがある。これらと連携し、日々の水遣りや打ち水に雨水の再利用を促進することは、大変意義がある。

3 事業の方向性

次年度以降の事業計画	現在までの成果・具体的な展開方針	優先度
見直し・改善の上継続 終了を見越して継続する 現状どおり 終了する	当初の目的が達成されたので終了する。	

優先度が：A非常に高い、B高い、C高いとはいえない

区民会議からの主な意見

水資源の節約に役立つ良い事業だと思います。